

週間漁海況情報 2021年第34号

令和3年8月31日発行

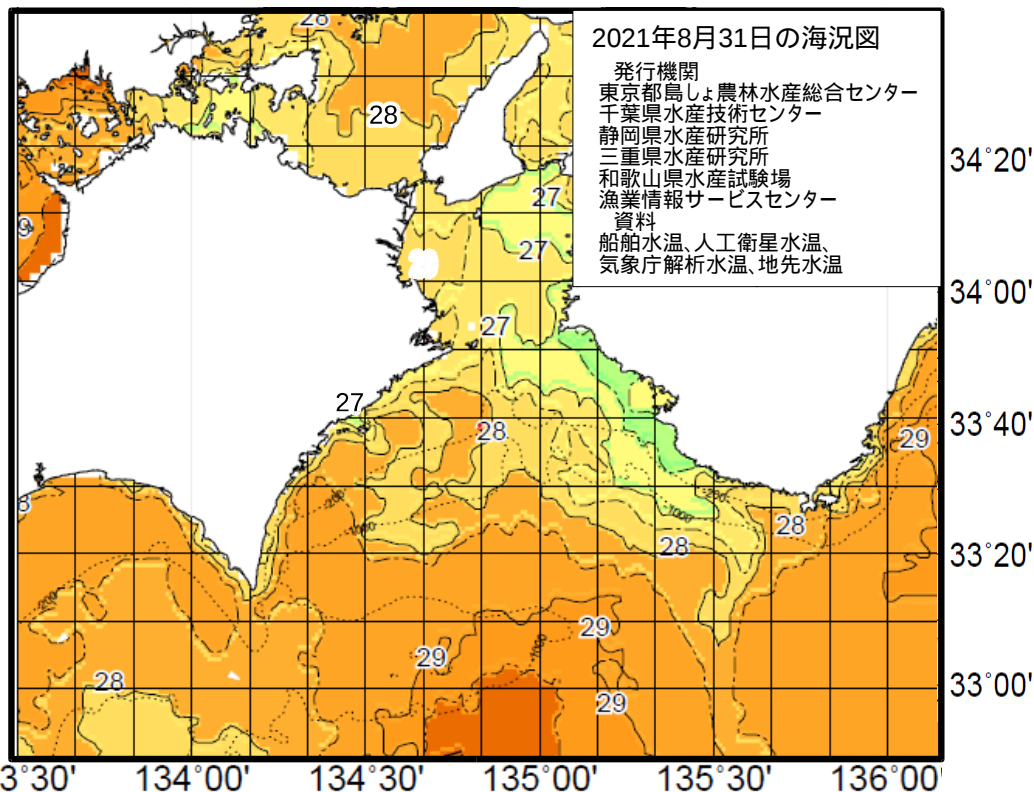
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖45マイル、潮岬沖135マイルを流れ、室戸岬沖は「やや離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部沿岸海域への暖水波及がみられる。黒潮の表面水温は28, 29 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が27, 28 台、紀伊水道が26, 27 台、海部沿岸が26 ~ 28 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

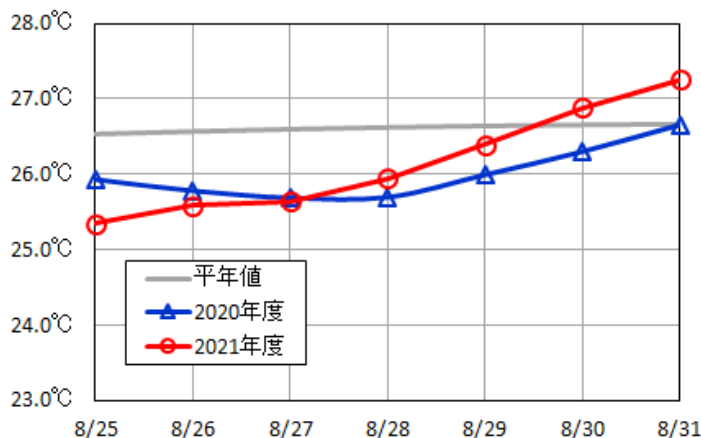
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~ 25NM やや離岸: 25 ~ 45NM 離岸: 45 ~ 65NM 著しく離岸: 65NM ~
潮岬沖 接岸: ~ 26NM やや離岸: 26 ~ 56NM 離岸: 56 ~ 86NM 著しく離岸: 86NM ~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

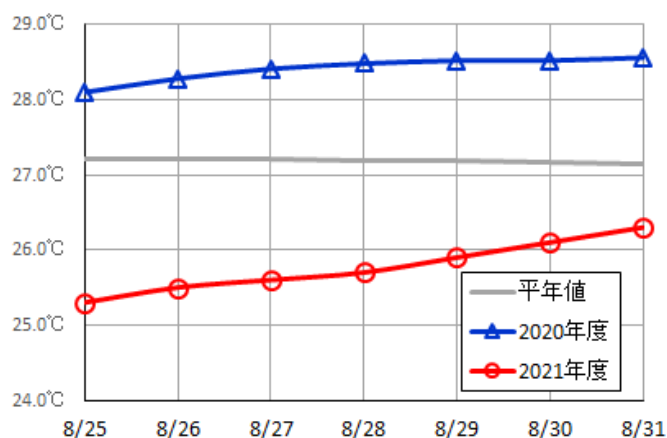
2. 地先水温(2021年8月25日~8月31日)

天候の回復により鳴門地区の水温は25.1~27.3 で「やや低め」から「やや高め」、日和佐地区は25.3~26.3 で「低め」から「やや低め」に上昇した。日和佐地区の水温が鳴門地区よりも0.04~1.0 低くなった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ± 0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ± 0.5 以上 1.5 未満
高め/低め: 平年値 ± 1.5 以上 2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ± 2.5 以上
平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月1日~9月7日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区は「やや高め」に、日和佐地区は「やや低め」から「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (8月23日～8月29日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが減って73.5ト水揚げされた。
 延縄では、ハモが増えて中主体に5.7ト、タチウオが特大主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが増えてめじろ級主体に0.9ト、ふえふきだい類が大きく減って大主体に0.5ト、イサキが大きく増えて大主体に0.4ト、マダイが減って0.3ト、ニザダイが大きく増えて0.3ト、カンパチが0.3ト、マルアジが大きく増えて小主体に0.2ト水揚げされた。
 底びき網では、ハモが中主体に6.2ト、マダイが大主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、アカムツが大きく増えて0.5ト、キダイが大きく増えて大主体に0.4ト、あまだい類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、マサバが大きく増えて小主体に1.6ト、かます類が大きく増えて1.5ト、カンパチが減って1ト、マアジが大きく増えて豆アジ主体に0.9ト、マルソウダが大きく増えて0.9ト、メアジが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	98	シラス	73,500	750		
	延縄	50	ハモ	5,663	113	中主体	
		43	タチウオ	310	7	特大主体	
	小型定置網	13	ブリ	907	70	めじろ級主体	
		13	ふえふきだい類	473	36	大主体	
		7	イサキ	397	57	大主体	
		19	マダイ	317	17		
		4	ニザダイ	299	75		
		15	カンパチ	273	18		
		14	マルアジ	220	16	小主体	
	底びき網	32	ハモ	6,238	195	中主体	
		21	マダイ	301	14	大主体	
海部沿岸	延縄	31	アカムツ	492	16		
		17	キダイ	408	24	大主体	
		21	あまだい類	236	11		
	小型定置網	14	マサバ	1571	112	小主体	
		28	かます類	1526	54		
		27	カンパチ	968	36		
		28	マアジ	874	31	豆アジ主体	
		25	マルソウダ	854	34		
15	メアジ	259	17				

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: